



TAKE OFF press

TAKEO Future Frontier

【校是】質実剛健 報恩感謝

佐賀県立武雄高等学校

校長通信 NO. 2 R5. 04. 17

文責 学校長 下村 昌弘

E-Mail shimomura-masahiro@education.saga.jp



学校 HP

新学期こそ Culutre の実感を -学びは光合成だ！-

新学期が始まって 10 日余りが経った。今はまだ新たな気持ちで机に向かい、新しい教科書、新しいノートを開き、きっとみずみずしい意気込みに満ち溢れていることだろう。その気持ちを大切に今しばらく学習習慣が身に付くまで丁寧な毎日を過ごして欲しい。



学ぶとは脳の倉庫に教科書に載っている知識事項をせっせと詰め込む作業ではない。知識や情報といった学習内容は、たとえて言うと、むしろ太陽の光や水だと思う。

若い苗（君たち）にたっぷりと太陽の光（知識）を浴びさせ、水（情報）を適切に与えることにより、健全な光合成（成長）を繰り返す。そうしてそれらが学び手の内面（精神世界）を深く広やかに拡大していく。

文化を意味する Culture という言葉が「教養」や「耕作」を表すのはそれなりの理由があるのだ。だんだん授業が本格化してきた。くれぐれも学習が作業にならないように。どんな単純な暗記事項であったとしても、そこに「思考」がなければやがて立ち枯れてしまうから。

そこに“思考”はあるのか？ -「マスク着用」と「ヘルメット着用」に思う-

最近、気になる言葉がある。それは「基本とする」という言い方と「努力義務」だ。みんなもきっと聞いたことがあるだろう。「4 月からはマスク着用を求めないことを基本とする」「自転車に乗る際、ヘルメット着用が努力義務化された」というもの。結果としてどちらの場合も「しても、しなくてもいい」という状況になってしまう。でも果たして単にそれでいいのだろうか。



マスクに関して言えば着用ルールが個人の判断に委ねられて約一ヶ月が過ぎた。場所や状況によっては込み合う場面や高齢者と接する配慮に基づいた着用を推奨されてはいるがそれも個人の判断だ。依然として学校ではまだマスク着用が多いような気がする。

ヘルメットに関しては高校生がかぶっている姿はほぼ見ない。もちろん買いたくても品切れ状態だという報道もある。



しかし、私が言いたいのは「マスクは基本的にはしなくていいけど、状況によっては考えようね」ということであり、「今はまだ罰則がないけど早晚義務化されるし自転車事故も侮れないから万一の事故に備えてヘルメットかぶろうね」ということではないのか、ということだ。つまり前者は「しない」ことを志向し、後者は「する」ことを志向すべきだと思う。

それなのに無自覚に、何の思考もなく、これまでどおりに過ごしている人が多いのではないだろうか。と一人悶々としている。

かくいう私も人前ではマスクをしていたほうが安心感を与えるかなといった感じで、着用する時

間のほうが長い。皆さんはどうだろう。要は“そこに思考はあるのかどうか”だ。思考停止、前例踏襲に陥らないことを切に願う。

目標のハードルを下げよ ー対面式で生徒会長のエールー

4月11日、前日の入学式を終えた新1年生と上級生たちの対面式が開催された。新型コロナが感染症法上の位置づけが5類に移行するまでは大事をとって体育館に入るのは1年と3年のみとし、2年生はリモートでの参加となった。

その中で筆者からは「憧れの先輩に、可愛がられる後輩に」「直列ではなく並列の関係に」と激励の言葉を送った。(HP参照) <https://www.education.saga.jp/hp/takeokoukou/>

そのあとの生徒会長古賀孝太朗さんの言葉が秀逸だった。「目標のハードルを下げていい。毎日学校に来ている自分を何よりも褒めてあげて」と優しく語りかけた。4月のこの時期、檄を飛ばさなくとも自然に気合が入るもの。つつい飛べしすぎ、5月ごろかえってペースを乱してしまいがちだ。自らの経験に裏打ちされた一番身近な声掛けに会場はふっと和らいだ感じがした。さすが先輩の一言には力がある。

いずれにしてもこれで3学年が全員揃った。令和5年度武雄高校丸の船出である。これからの旅路の全てが順風満帆とはいかないかもしれない。しかし、子弟同行、全員で力を合わせて荒波にも立ち向かっていこう。

君は何になりたい？ -1位は警察官とケーキ屋・パン屋-

株式会社クラレ（日本の大手化学メーカー）が今春小学校へ入学する新1年生に将来になりたい職業を調査した。その結果は以下のとおり。 <https://www.kuraray.co.jp/enquete/occupation>

男子			女子		
順位	昨年	職業	順位	昨年	職業
1	1	警察官	1	1	ケーキ屋・パン屋
2	2	スポーツ選手	2	2	芸能人・歌手・モデル
3	3	消防・レスキュー隊	3	3	花屋
4	4	運転士・運転手	4	5	警察官
5	6	ユーチューバー	5	7	看護師
6	5	研究者	6	9	アイスクリーム屋
7	7	TV・アニメキャラクター	7	4	医師
8	9	ケーキ屋・パン屋	8	6	保育士
9	8	医師	9	10	美容師
10	13	宇宙関係	10	7	教員

近年の傾向としては、男子は警察官や消防・レスキュー隊が上位のようだ。格好いい制服姿や街を守るために事故や災害時に活躍する姿に憧れるらしい。

一方、女子の方は1位のケーキ屋・パン屋は25年連続の1位だとか。今やジェンダーレスの時代なのでこういう調査も男女の別なく一本化されるのかもしれない。

さて、まもなく成年年齢を迎える（一部迎えた）君たちはこの結果を見て何を思うだろう。より現実的な夢に向かい、志をもって前に進んでほしい。

【当面の予定（4月後半）】

- 17日（月）月セミ（2年）・ハイレベル補（3年）スタート
- 18日（火）防災・避難訓練
- 25日（火）生徒会長選挙
- 28日（金）中高合同遠足

